

# 1 いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成

## ◆学習のねらい

正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、正義を実現しようとする態度を育てる。

## ◆評価

いじめや不正な言動に向き合い、正義と公正を重んじようとする意識をもつことができたか。

## ◆教育課程における位置付け

特別の教科 道徳（公正、公平、社会正義）

## ◆主な使用教材

・「傍観者でいいのか」（東京都教育委員会『人権教育プログラム』平成16年3月）

## 展開例

	学習活動（◇教師の発問例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 いじめの構造について理解する。 ◇ いじめには、どのような立場の人がいるのでしょうか。	○ いじめの構造図を提示する。
展開 40分	2 教材「傍観者でいいのか」を読み、話し合う。 ◇ どうして、このようないじめの状況になったのでしょうか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;">【中心発問】「見て見ぬふりをする生徒たち」のように行動してしまうのは、どうしてでしょう。</div> 3 いじめの状況を解決することができないかを考える。 ◇ 今日の話のような状況を何とかすることはできないのでしょうか。	○ それぞれの登場人物について、感想を述べ合う。 ○ 傍観者であってはいけないと分かっているにもかかわらず踏み出せない背景や心情を見つめ、人間の弱さを克服しようとする思いを話し合わせる。
終末 5分	4 「心みつめて」152ページの「什の掟」を読み、学習を振り返る。	

## 板書例

○いじめの状況を何とかすることはできないのでしょうか。

- ・ 関わりたくない気持ち強い。
- ・ 止めようとしても、みんなが味方になつてくれるか分からない。
- ・ でも、いじめを見て見ぬふりをする人も、いじめを受けている人の関係者からは、いじめに加担していると思われることもある。

○「見て見ぬふりをする生徒たち」のように行動してしまうのは、どうしてでしょう。

- ・ 何も言わない人がいる。
- ・ Bさんたちと関わりたくない。
- ・ 「私」もいじめられるかもしれない。
- ・ 今度は、「私」がいじめの対象になるかもしれない。

○どうして、このような状況になったのでしょうか。



傍観者でいいのか

教材文

傍観者でいいのか

夕べからの雨が降り続けている。「今日も雨か。」  
 昨日、帰るときAさんの上履きがぬれて泥だらけになっていたことを思い出した。  
 「遅れるわよ。急ぎなさい。」と母の声が聞こえた。私は、重たいかばんを引きずるよ  
 うにして家を出た。学校へは行きたくなかった。学級が嫌だった。

二年生になって学級替えがあった。私はみんなに推薦されて学級代表になった。にぎ  
 やかな学級だなあと思っていた。そして、みんなのためにできることをやろうと思った。  
 初めて一緒に学級になった人の中にAさんがいた。気が弱く、ちよつと頼りなさそう  
 なところがあったが、冗談を言って周りを笑わせる。何を言われてもニヤニヤ笑っていた。  
 AさんはBさんやそのグループの仲間といつも一緒だった。毎朝Bさんの家に迎えに行  
 き、Bさんの荷物をもって登校していた。私は、「断ればいいのに」と思っていた。

ある日、Aさんは朝寝坊をしたらしく、Bさんの家に寄らずにあわてて登校すること  
 があった。登校すると、AさんはBさんたちに呼ばれた。戻ってきたAさんは下を向い  
 て苦しげだったが、すぐに冗談を言っつていつものようにおどけていた。それからは、A  
 さんは今までもましてBさんたちの言いなりになった。学級の前でもBさん  
 は平気でAさんをかからかったり、命令したりするようになっていた。学級の人の中には  
 Bさんたちと一緒にAさんをかからかって笑う人まで出てきた。でも、ほとんどの人は、  
 何も言わなかったし、何もしなかった。

Bさんは「Aが遊ぼうっていうから一緒に遊んでやっているだけだし、Aだって笑っ  
 ているじゃないか。」と声高にみんなに話していた。  
 私は、「Aさん、なんで笑っているの。怒ればいいのに。」と思った。

一学期の終わりころになると、Aさんは身体の不調を訴え、早退したり欠席したりす  
 ることが多くなった。

放課後、私は掲示物を直していた。その時、思い詰めたような顔をしたDさんに話し  
 かけられた。「Aさんをこれ以上ほっておけない。」私は、はっとした。

Dさんは、休んでいるAさんの家に行つて話を聞いたそうだ。Aさんはボロボロと涙  
 を流して「いじめられるのはつらい。もう学校へは行かない。」と言ったそうだ。Bさん  
 たちから言われたことを断ると、殴られたりしていたそうだ。  
 やっぱりつらかったんだ。苦しかったんだと思った。

東京都教育委員会『人権教育プログラム』（平成16年3月）より一部改編

【資料等】

←中心発問等で使用するワークシート

「しゅうのわき」(抜粋)  
 虚言を言うことはなりません  
 卑法な振舞をしてはなりません  
 弱い者をいじめてはなりません  
 ならぬことはならぬものです

↑終末で使用する『心みつめて』（152ページ）

★ 今日の話のようないじめの状況を何とかすることはできないのでしょうか。

★ 「見て見ぬふりをする生徒たち」のように行動してしまうのはどうしてでしょう。

〔中学校〕道徳科学習ワークシート

年  組  番  名前

1

いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成

◆学習のねらい

考え方や価値観の違いを認識し、互いを尊重することにより、より良い学級や学校、豊かな未来を築くことができることを認識する。

◆評価

他者との関わりの中で、異なる考え方や価値観の違いを調整し、互いを尊重することがより良い社会の形成につながることに気付くことができる。

◆教育課程における位置付け

人間と社会

◆主な使用教材

・『人間と社会』（東京都教育委員会）80～83ページ

展開例

	学習活動（◇教師の発問例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 本時の学習を知る。 これまで学んだことを生かして、どのようにして幸せな世の中にしていくのか考えよう。	
展開 40分	2 「周りの人の幸せ」「自分の幸せ」について考える。 ◇ 80ページのボタン王国に関するコラムを読み、「幸せになりたかったら、まず、周りの人の幸せを願って、そのためになにかすることが大切なんだ。自分の幸せを探し出したら、幸せは、みつからないんだよ。」と述べられている点について、自分の考えを発表しましょう。  【発表のポイント】 ① 近くの人とペアになり、「自分の幸せを探し出したら、幸せは、みつからない」と長官が述べた理由について考える。 ② 自分自身は「自分の幸せを探し出したら、幸せは、みつからない」という長官の考えに賛成か反対か、ペアの相手に意見を述べる。 ③ 長官の考えに賛成か反対かに分かれて、具体的なケースを挙げ、より自分の考えを深める。 ④ 長官の考えに賛成と反対とで討論する。相手が異なる考え方をする理由に注目して、双方の意見を聞き合う。	○ 近くの人とペアを作り、意見交換をさせる。 ○ 「発表のポイント」を基に、意見交換をさせる。
	3 「幸せな世の中にする」ために何ができるか考える。 ◇ 82ページの「ケーススタディ～あなたならどうする？」から、自分の意見に一番近い人を選び、「幸せな世の中にするプロジェクト行動宣言」を作成しましょう。 4 『人間と社会』83ページの最後の部分を全員で読み、この部分が、なぜ「いじめ防止」につながっていくのを考え、発表する。	○ 「自分に何ができるか」という視点を意識させる。
まとめ 5分	5 話し合ったことを踏まえながら、『人間と社会』83ページの最後の部分をもう一度全員で読む。	○ 異なる考え方や価値観の違いを調整することが、いじめ防止になることにも気付かせる。

板書例

これまで学んだことを生かして、どのようにして幸せな世の中にしていくのか考えよう

- 「周りの人の幸せ」「自分の幸せ」について考える。

「幸せになりたかったら、まず、周りの人の幸せを願って、そのためになにかすることが大切なんだ。自分の幸せを探し出したら、幸せは、みつからないんだよ。」

自分の考え

- ・私はこの考えに賛成です。自分の幸せ以上に周りの人の幸せのために行動することが大切だと思います。
- ・私はこの考えに反対です。まずは自分が幸せでなければ、周りの人を幸せにすることはできないと思います。

- 「幸せな世の中にするために」何ができるか考える

- ケーススタディ～あなたならどうする？



